



SENDAI  
INTERNATIONAL  
MUSIC  
COMPETITION

## 第4回 仙台国際音楽コンクールニュース

ヴァイオリン部門  
ピアノ部門

2010年5月22日(土) ~ 2010年6月6日(日)

2010年6月13日(日) ~ 2010年6月27日(日)

# コンチエルト

発行：第4回仙台国際音楽コンクール(SIMC)ボランティア広報宣伝サポート  
問合せ：仙台市市民文化事業団コンクール推進課(仙台国際音楽コンクール事務局)  
Tel：022-727-1872 / e-mail：info@simc.jp / URL：http://www.simc.jp/

2008.10.1

Vol.4-2



## インタビュー

仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサート  
マスター 伝田 正秀(でんだ まさひで)さんに  
ジュニアオーケストラの指導の合間に  
インタビューさせていただきました。

### ーヴァイオリンを始められたきっかけを聞かせてください。

両親が子供のためのヴァイオリンの先生だったので必然的に  
始まりました。自分ではあまり記憶はないのですが、3歳の頃から  
始めていました。

### ー最初の先生はどなたですか。その時の様子とその後のことも 教えてください。

父が先生で中学まで12年間続きました。その頃は練習がきつ  
く、基本的に練習が大嫌いでしたが、小学校に入ってから他の  
様々なことにも興味ができました。その後、進学高校に行くか  
音楽高校に行くかと迷った末に音楽を選びました。音楽学校を  
選べば勉強よりは音楽だけになるので、うまくなりたいと自覚  
して練習していきました。

### ーウィーン留学中の思い出を聞かせてください。

国立音大、市立の音楽院に同時に通っていました。先生が厳し  
かったのでついていくのに精一杯でした。自分のなかではこの  
くらい練習していけば十分と思って行っても、1小節2小節弾い  
ただけで怒られることもありましたが、でも、先生の演奏には説得  
力があって、結局4年近くついていきました。ホイリゲとい  
う、ベートーヴェンが住んでいたところが酒場になっている場  
所があって、そこによく飲みに行きながら、アコーディオンを弾い  
ているおじさんと演奏したりしました。またよく山を散歩しま  
した。結局はのんびりした生活だったので、また行きたいです。

### ー仙台フィルを選ばれた理由と仙台への思い入れなどをお聞かせ ください。

仙台の街はゲストコンマスで来たのが初めてでした。帰国後  
東京で2、3年フリーとして生活し、それなりに充実してしま  
したが、コンマスという機会には自分から選べることではないです  
し、やりがいのある仕事と感じました。難しい仕事でリスクも感  
じましたが、やらないで後悔するよりはと思って来ました。実際  
オーケストラで勉強すると同じ曲の見え方も違ってきますし、  
よかったと思っています。仙台が大好きな所となりました。

### ー伝田さんから見た「良いコンマス」とはどういう人でしょう。

いろんな点で存在感を持っていて、リハーサルの時には指揮  
者とのパイプ役としていろんなことを知っている人です。また、  
音楽的な味を出せるような人であり、人間的にも信頼できるこ  
とです。自分の尊敬するコンサートマスターには様々なタイプ  
がいます。

### ーコンマスとしての喜びとは何でしょうか。

演奏会で曲の内容と指揮者の音楽を理解して結果を出せた  
ときは喜びです。色々な指揮者、ソリスト、そして作品と出会って、  
どんどん視野が広がることも嬉しいです。

### ー仙台国際音楽コンクールに思うことを聞かせてください。

伴奏をしていて、個性のある人、味のある音色を出す人など魅  
力的な演奏を感じると「キタッ!」という感じでこの上ない喜び  
です。プロのソリストは安定感を求められますが、コンクール出  
場者は不安定になっ  
ても大きな表現や  
自分のカラーを出そ  
うとしているのが魅  
力的に感じます。

### ー今年のせんくらは「オール・サラサ ーテ」でいかれませんが、これはなぜで すか。

スペインのプログ  
ラムにしたいと思っ  
ていたところ、プロ  
デューサーとの話し  
合いの時にサラサー  
テ没後100周年と聞き、  
とても難しい曲です  
が、なんとか今年チ  
ャレンジしようと思  
いました。名人芸的な箇所は自信がつくまで練習しなければ  
と思っています。

### ー好きな作曲家、また好きなヴァイオリン曲は何ですか。

好き嫌いはいそんなにありませんが、リクエストがあればど  
れもやってみたいと思っています。名曲といわれる曲もど  
んどん弾いていきたいと思っています。

### ー最近よく行く所、あるいは行きつけのお店はありますか。

最近はいり物もあまりなくなっています。泉中央駅の近く  
のテラスが開放されていてビールやコーヒーを持って行って飲  
むと気分がよくて大好きです。最近では車も売って地下鉄の近い  
所に住んで、楽器を買うために節約しています。

### ー日常の健康法は何ですか。

フィットネスへ行ったり、人参ジュース(りんごとレモンも入  
れる)を欠かさず飲むようにしています。1日3回ぐらい飲んで  
もいいと思っています。

### ー好きな食べ物、飲み物は何ですか。

豆腐料理と茄子を使った料理が好きです。イタリア料理も好  
きです。アルコール類は焼酎、ウイスキーを除いて他はなんでも  
飲みます。

### ー将来、自分のお子さまをヴァイオリニストにされたいですか。

絶対そうします。父がしてくれたように、家中にスピーカーを  
置いて、クライスラー、ティボー他、巨匠のCDを、這い這いして  
いる頃から聴かせたいです。それを理解してくれる心の広いお  
嫁さんと会えれば叶うと思うのですが(笑)。

ー伝田さん、お忙しいところありがとうございました!



# せんくら 2008 わたし、コシを聴きます!

さまざまなタイプのコンサートが目白押しのせんくら。あなたなら、どんな楽しみ方を見つけますか?

機会が  
ありまして、「俵万智と明川哲也の語りと歌」の切符を入手しました。今までせんくらに行った事がなかったので、今回は3回目ですが、1回目から行っておくんだったなあと考えています。言葉と音楽は自己を表現する大きな手段です。ファンである俵万智さんが出演するとあって、今から楽しみにしています。他にも素晴らしい演奏会が目白押しのように、あれもこれも行ってみたい期待感でいっぱいです。

公演番号53  
俵万智、明川哲也/元ドリアン助川、MITSUが贈る、歌と朗読の夕べ～ワニバージョン

公演番号54  
俵万智、明川哲也/元ドリアン助川、MITSUが贈る、歌と朗読の夕べ～トマトバージョン

今年のせ  
んくらでは、発売早々入場券が完売した菅英三子さんが会場をイズミティ大ホールに移し、数年前読売日響と共に来仙して名唱を披露したテノール中鉢聡さんと組んでオペラの名曲を歌うコンサートです。プログラムは今年生誕150年を迎えたブッチーニが中心ですが、椿姫の「乾杯の歌」など2曲の二重唱と菅さんの十八番である「夜の女王のアリア」も含まれています。オーケストラの伴奏ですから、オペラの醍醐味を堪能できるものと期待されます。

公演番号40  
東北の名ソプラノ&名テノール、夢の共演。超有名オペラ曲選!

昨年聞  
き逃してしまった谷川さんの朗読を今年こそはと楽しみにしています。谷川さんの詩はストレートに心に伝わり身近に感じられるので、生の声で聞けるのはとても嬉しいです。息子の賢作さんのピアノと「あんさんぶる であるとあるで」の演奏もあり、ことばと音楽両方の旨みが味わえるのですから感激です。そしてなにより現在76歳の谷川さんのエネルギッシュな活動に触れられればと思っています。

公演番号51  
谷川俊太郎といっしょにあそぶ「ことばあそびうた」こどもたち大歓迎!バージョンアップで再登場!

公演番号52  
谷川俊太郎&賢作の世界「家族の肖像」さらに深みを増して再登場!

1年は長くも  
もあり、短くもあり。お帰りなさい、原田さん。ドイツでの研鑽の日々、どのようにチェロと対峙して過ごされたのでしょうか。マイブームのキャロットジュース、ドイツでも飲み続けていましたか。もし続けていたとしたら、原田さんのチェロの音色にも影響あり?? 期待は高まり、でも少しドキドキしている1ファン……

公演番号13  
ドイツ留学を経て待望の再登場! ブラームスで本領発揮でしょう

世界の英哲  
の太鼓、新進気鋭の生きのいい浅野の三味線。  
このとてつもないビッグな2つの素材を45分の限られた時間の中で、アンサンブル東風を指揮する松下シェフがどうさばいて私達に供するか、興味はつきない。目と耳でじっくり味わおう。

公演番号78  
大和魂を震わせたいならこれ! 和太鼓・世界の林英哲&期待の新星、津軽三味線・浅野祥が贈る、作曲家自身の指揮による豪華ステージ

# せんくら「はじめて」ものがたり

今回の「せんくら」では、初めての試みもいくつか用意されています。音楽の違った楽しみ方をこっそり紹介します。

## 聴覚に障害のある方のための「体感音響システム席」で楽しいコンサートを体験しませんか!!

“せんくら2008”では、聴覚に障害のある方にも音楽を楽しんでいただく試みとして、「体感音響システム席」を準備しましたので、聴覚に障害のある方もコンサートを楽しんでもらえます。

★体感音響システムとは★  
ヘッドフォンと、ザブトクッションに組み込まれた振動ユニットを使い、音楽を身体への振動として伝えるシステムです。小さな音でも振動ユニットから臨場感あふれる重低音が直接身体に伝わり、大音量の感覚で楽しめます。補聴器を使っている難聴の方や中途失聴の方は、このシステムにより通常よりも音楽が良く聞こえて楽しんでいただけます。  
補聴器を使っても聞こえない完全失聴の方や生まれつき聴覚に障害のある方は、振動だけが身体に伝わり完全な音楽として認識いただけないと思いますが、演奏の様子を見ながらリズムの振動を感じるだけでも楽しいという感覚が経験できると思います。

## 仙台クラシックフェスティバル2008 協賛事業 「食とクラシック」

「せんくら」本番の3日間、仙台青年文化センターにて、音楽と食べ物のコラボレーションが楽しめます。  
ショパン、モーツァルト、ドビュッシーなど、偉大な作曲家たちが好んだと言われるメニューを現代風にアレンジ。コンサートの合間のお食事にご利用ください。  
販売されるメニューのひとつ「ショパンポトフ」の担当は、明成高等学校調理科の皆様。  
先日、この「食とクラシック」のプロデュースを担当する料理研究家の千葉 真知子さんによる特別授業が行なわれました。



野菜と白身魚をやわらかくなるまでじっくりと煮込んだポトフ、当日はパンも一緒について販売されます。

ポトフの他にも、モーツァルトにちなんだ牛たんシチュー、ドビュッシーにちなんだりんごのお菓子、ブラームスにちなんだ和製エッグノッグなど、期間中は作曲家とお料理の意外な組み合わせがお目見えます。食べ物を通して、作曲家を身近に感じてみてください。  
お料理はすべて数量限定なので、興味のある方はお早めどうぞ!



# 第4回仙台国際音楽コンクール

## The 4<sup>th</sup> Sendai International Music Competition

### 概要

2010年に開催される第4回仙台国際音楽コンクールの概要が決定しました。協奏曲を課題曲の中心に据えるという大きな特色を持ち、公正で信頼性の高い運営が国際的な評価を得ています。また、今回はオーディション会場としてベルリンを追加するなど、質の高い国際コンクールとして更なる進化を続けます。2008年10月から募集が開始されます。



日 程	ヴァイオリン部門	ピアノ部門
予 選	2010年5月22日(土)～5月24日(月)	2010年6月13日(日)～6月15日(火)
セミファイナル	2010年5月29日(土)～5月31日(月)	2010年6月19日(土)～6月21日(月)
ファイナル	2010年6月4日(金)～6月5日(土)	2010年6月25日(金)～6月26日(土)
入賞者記念 ガラコンサート	2010年6月6日(日)	2010年6月27日(日)

出場資格	1982年1月1日以降に出生した者(国籍不問)
申込締切	2009年10月1日(消印有効)
賞	1位賞金 300万円 ほか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CD制作</li> <li>・ 仙台フィルハーモニー管弦楽団 又は 日本の代表的なオーケストラとの共演</li> <li>・ リサイタル出演</li> </ul>
オーディション	日程：2010年1月 会場：ニューヨーク、モスクワ、ベルリン、パリ、ウイーン、仙台
会 場	仙台市青年文化センター (宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
運営委員長	海老澤 敏 (尚美学園大学大学院特別専任教授)
審査委員長	宗 倫匡(ヴァイオリン部門) / 野島 稔(ピアノ部門)

◆お問い合わせ先

財団法人仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 TEL：022-727-1872/FAX：022-727-1873

Email：info@simc.jp URL：http://simc.jp/